

手術前後に休薬が必要な薬剤

出血リスク薬（内服）

分類	商品名	一般名	術前休薬期間※1	再開時期※2	
抗凝固薬	リクシアナ	エドキサバン	24時間 ¹⁾	カテーテル抜去後 6時間 ⁴⁾	
	イグザレルト	リバーロキサバン			
	エリキユース	アピキサバン	2日 ¹⁾		
	プラザキサ	ダビガトラン			
	ワーファリン	ワルファリンカリウム			
抗血小板薬	プレタール	シロスタゾール	3日 ⁴⁾	カテーテル抜去後 ⁴⁾	
	ブリリント	チカグレロル	5日 ¹⁾		
	バイアスピリン	アスピリン	7日 ¹⁾	術後早期 ⁴⁾	
	バファリン	アスピリン・ダイアルミネート			
	キャブピリン	【合剤】アスピリン ・タケキャブ			
	タケルダ	【合剤】アスピリン ・ランソプラゾール			
	コンプラビン	【合剤】アスピリン ・クロピドグレル	アスピリン・クロピドグレルの項目を参照		
	プラビックス	クロピドグレル	14日 ¹⁾	カテーテル抜去後 ⁴⁾	
	パナルジン	チクロピジン			
	エフィエント	プラスグレル			
抗血小板作用薬	アンプラーグ	サルポグレラート	1日 ⁶⁾		
	カルナクリン	カリジノゲナーゼ			
	プロサイリン	ベラプロスト			
	ドルナー				
	ペルサンチン	ジピリダモール	2日 ⁶⁾		
	オパルモン	リマプロストアルファデクス	2日 ⁴⁾		術後早期
	プロレナール				
	ロコルナール	トラピジル			
	コメリアンコーワ	ジラゼプ			
	サアミオン	ニセルゴリン			
	セロクラール	イフェンプロジル	3日 ⁶⁾		
	ケタス	イブジラスト			
	ロトリガ	オメガ3脂肪酸エチル	10日 ⁶⁾	カテーテル抜去後 ⁴⁾	
	エパデールS	イコサベント酸エチル			
エパロース					
ソルミラン					
抗癌剤	イムブルピカ	イブルチニブ	7日 ²⁾	7日 ²⁾	

※1 術前休薬期間は出血高リスク手術を想定しています。

※2 術後再開時期は血栓リスクが高い場合を想定しています。

手術前後に休薬が必要な薬剤

出血リスク薬（注射）

分類	商品名	一般名	術前休薬期間 ^{*1}	再開時期 ^{*2}
抗凝固薬	ヘパリンNa	未分画ヘパリン	6時間 ⁴⁾	カテーテル抜去後2時間 ⁴⁾
	ヘパリンCa	未分画ヘパリン	10時間 ⁴⁾	
	クレキサソ	エノキサパリン	12時間 ⁴⁾	
	フラグミン	ダルテパリン		
	アリクストラ	フォンダパリヌクス	4日 ⁴⁾	カテーテル抜去後6時間 ⁴⁾

血栓症リスク薬

分類	商品名	一般名	術前休薬期間	再開時期
骨粗鬆症治療薬 (SERM)	ビピアント	バゼドキシフェン	3日 ¹⁾	完全に歩行可能になれば ¹⁾
	エビスタ	ラロキシフェン		
低用量ピル	アンジュ		28日 ⁵⁾	手術14日目以降 ⁵⁾
	トリキュラー			
	ヤーズ			
	ルナベル等			
中用量ピル	プラノバル	ノルゲストレル ・エチニルエストラジオール		
女性ホルモン 薬	エストラーナ	エストラジオール		
	ル・エストロジェル	エストラジオール		
	ディビゲル	エストラジオール		
	メノエイド	ノルエチルステロン ・エストラジオール		
	プレマリン	エストラジオール		
	ウェールナラ	エストラジオール ・レボノルゲストレル		
	ホーリン	エスオリオール		

乳酸アシドーシスリスク薬

分類	商品名	一般名	術前休薬期間	再開時期
糖尿病薬 (ビグアナイド系)	メトグルコ	メトホルミン	2日 ⁶⁾	術後3日目 (循環状態が安定すれば)
	グリコラン			
	ジベトス	ブホルミン		
	メタクト	【合剤】メトホルミン ・TZ誘導体	2日 ⁶⁾ (休薬期間中は必要に応じ他剤の使用を考慮)	
	エクメット	【合剤】メトホルミン ・DPP-4阻害薬		
	イニシンク			
	メトアナ			

手術前後に休薬が必要な薬剤

創傷治癒遅延リスク薬

分類	商品名	一般名	術前休薬期間	再開時期
抗癌剤	インライタ	アキシチニブ	24時間 ²⁾	21日 ²⁾
	レンビマ	レンバチニブ	7日 ²⁾	創傷治癒まで ²⁾
	ヴォトリエント	バゾパニブ	7日 ⁷⁾	創傷治癒まで ²⁾
	スーテント	スニチニブ	7日 ²⁾	創傷治癒まで ²⁾
	ネクサバル	ソラフェニブトシル	10日 ⁶⁾	患者の状態に合わせて再開 ²⁾
	スチバーガ	レゴラフェニブ	14日 ²⁾	患者の状態に合わせて再開 ²⁾
	アバスチン	ベバシズマブ	42日 ⁶⁾	28日 ²⁾
	サイラムザ	ラムシルマブ	28日 ⁶⁾	創傷治癒まで ²⁾
	ザルトラップ	アフリベルセプト	28日 ⁷⁾	28日 ⁷⁾

その他

分類	術前休薬期間	再開時期
市販薬	14日 ⁸⁾	退院後
健康食品		
サプリメント		

休薬・再開時期については手術による侵襲や疾患等により主治医等が最終判断してください。

参考文献

- 1) 添付文書
- 2) 適正使用ガイド
- 3) 循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン2019
- 4) 抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン（2016）
- 5) ホルモン補充療法ガイドライン2017
- 6) 臨床試験データ・メーカー回答
- 7) 米国添付文書
- 8) 米国麻酔医協会推奨、日本麻酔科学会周術期管理チームテキスト記載

手術前後に休薬が必要な薬剤

その他注意が必要な薬剤

分類	商品名	一般名	理由
肺高血圧症 治療薬	ウプトラビ	セレキシパグ	出血リスク
潰瘍性大腸炎 治療薬	レクタブル	ブテゾニド	創傷治癒遅延リスク
チロシンキ ナーゼ阻害 薬・抗繊維化 薬	オフエブ	ニンデタニブ	創傷治癒遅延リスク・出血リスク
抗悪性腫瘍薬	ベレキシブル	チラブルチニブ	出血リスク（中断を考慮）
	エンドキサン	シクロホスファミド	創傷治癒遅延リスク
	カボメティクス	カボサンチニブ	
	トーリセル	テムシロリムス	
	カプレルサ	バンデタニブ	
	シロリムス	ラパリムス	
	アフィニトール	エベロリムス	
免疫抑制薬	サーティカン		
抗リウマチ薬	メタルカプターゼ	ペニシラミン	
抗ウイルス薬	レベトール	リバビリン	
生物学的製剤	アクテムラ	トシリズマブ	創傷感染リスク
	レミケード	インフリキシマブ	
	エンブレル	エタネルセプト	
	ヒュミラ	アダリムマブ	
副腎皮質ステロイド薬			創傷治癒遅延リスク